

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわく			
○保護者評価実施期間	令和 8 年 1 月 10 日		～	令和 8 年 2 月 28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	令和 8 年 2 月 1 日		～	令和 8 年 2 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	13名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 2 月 28 日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発や放デイが共に協力し合いながら活動している。</li> <li>・支援学校に加え、近年の地域の小学校等の支援級児童が多く利用することにより、活動の幅が大きく広がり、みんなで一つの事(ダンス、運動会等)に向かい取り組んでいる。</li> <li>・ビジネスチャットを活用したICTの導入により、正規、非正規問わず、情報共有や効率化、時間短縮を図ることができ、その分、児童に向き合う時間が持てている。</li> <li>・Instagram、事業所の広報誌を通じて、本人をはじめ保護者の皆様に対しても情報発信にも力を入れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの自主性を尊重し、意欲的に活動・移行できるための場面作りなどの配慮を行っている。</li> <li>・長期休み等で皆で一つの目標に向かい取り組むなど、一体感を持ち、さらに披露する場を作ることで、満足感、達成感、自己肯定感を高め、更に近年の核家族化で困難になっている高齢者等、他部署等との交流ができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休み等を活用し、保護者会、参観会を開催している。</li> <li>わくわくの活動内容、支援方針等を知ってもらうこと、保護者の方と一緒に今後の支援方法など、話し合う時間を持つことができている。ただ情報発信としては不十分な面もあり、今後も「知ってもらう」「理解してもらう」為の情報発信の取り組みを行っていく。</li> </ul>
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			